

令和 7 年度常陸大宮市原子力災害広域避難訓練

アンケート集計結果

(参加住民アンケート)

全般

1 本資料について

本アンケート調査は、訓練実施に先立ち作成した「評価・検証計画」に基づき、訓練成果を整理、分析して課題等を抽出し、改善策をとりまとめ、「常陸大宮市原子力災害広域避難計画」の実効性の向上を図ることを目的として実施しました。

本資料は令和7年11月30日(日)に実施された「令和7年度常陸大宮市原子力災害広域避難訓練」の参加者(住民)を対象に実施したアンケート調査結果をまとめたものです。

2 アンケート実施方法

訓練参加者(住民)を対象とした本アンケートは、訓練終了時(緒川地域センター(文化ホール))に配布し、その場で記入、回収しています。本アンケート調査では、訓練参加住民60名中、59名から回答を得ました。

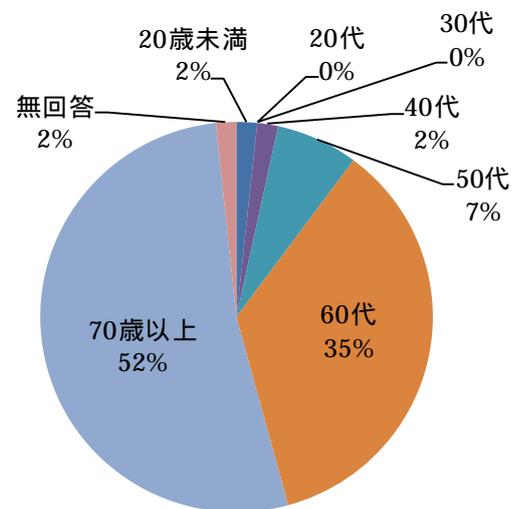
アンケート集計結果

1 あなたの年齢を教えてください。

項目	回答数	回答率 (回答数/ 総数)
10代	1	1.8%
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	1	1.8%
50代	4	7.3%
60代	21	38.2%
70歳以上	31	56.4%
無回答	1	1.8%

総数

59



3 今回の訓練では、どのような成果があったと思いますか？(複数回答可)

「原子力災害時にとるべき行動を確認できた」が最も多く約30%(昨年29%)の44名(ノ延べ149名)でした。次いで「普段から訓練をしておくことの重要性を感じた」約26%(昨年13%)の39名(ノ延べ149名)でした。次いで「原子力災害に関する知識を習得できた」で約23%(昨年22%)の34名(ノ延べ149名)でした。一方で「成果があったと思わない」と回答した方は約3%(昨年23%)の5名(ノ延べ149名)と飛躍的に改善されました。

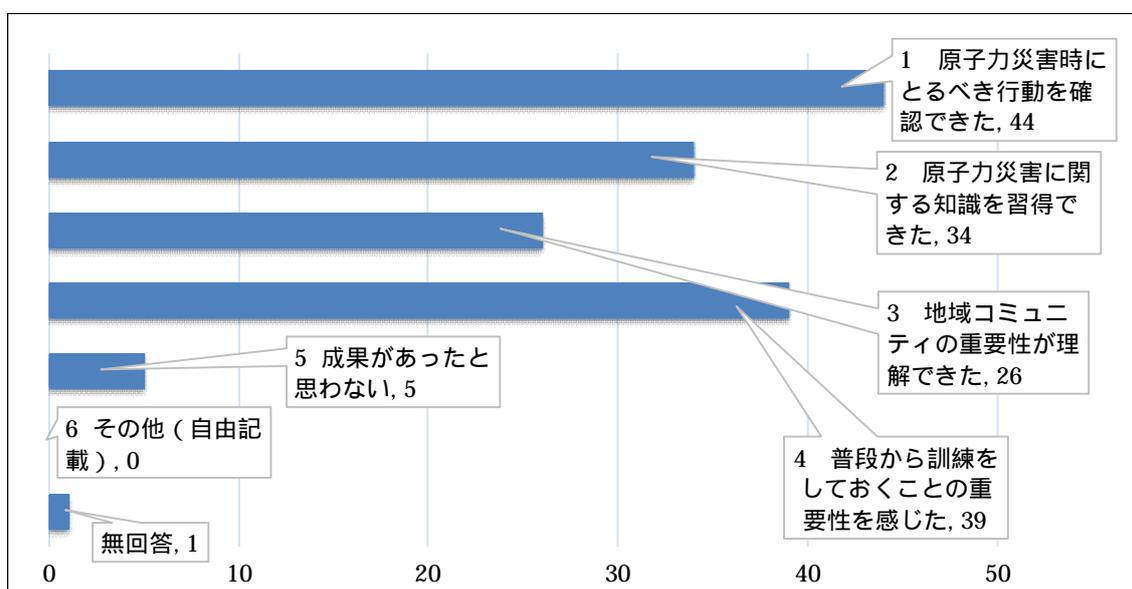
自由意見では、「御前山地域センターへ行ったときに、実戦さながらの訓練に感

動した。訓練がいかに大事か理解できた。」などの肯定的意見が多く見られました。

項目	回答数
1 原子力災害時にとるべき行動を確認できた	44
2 原子力災害に関する知識を習得できた	34
3 地域コミュニティの重要性が理解できた	26
4 普段から訓練をしておくことの重要性を感じた	39
5 成果があったと思わない	5
6 その他（自由記載）	0
無回答	1

総数

149



【その他（自由記載）】

- ・御前山地域センターへ行ったときに、実戦さながらの訓練に感動した。訓練がいかに大事か理解できた。（上村田）
- ・参加者より行政の訓練が主力のようだった。（上村田）
- ・事故がおきた時の大混乱が予想される。（上村田）
- ・訓練参加して身近に感じる事が出来ました。（石沢）
- ・放射能検査に時間がかかりすぎる。もっとスピーディーに。（小場）
- ・避難場所が確認できた。（小場）
- ・行動のルートが確認できた。（小野）

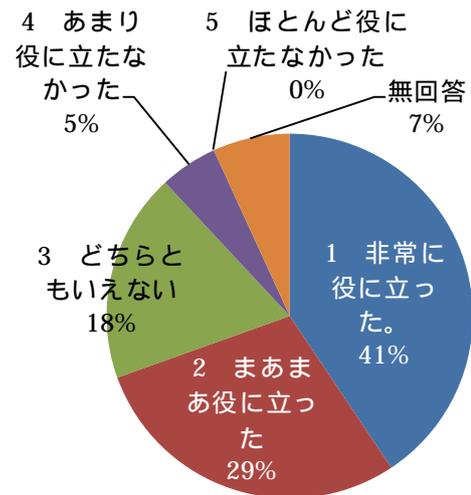
4 - 1 屋内退避実習は役に立ちましたか？

訓練参加者全体の約70%（昨年85%超）の方が、「非常に役に立った」及び「まあまあ役に立った」と回答しています。

自由意見では、「家族全員に理解させるのは大変である。」とか「水道は使えるのだろうか？」など、屋内退避への疑問などの意見が見られました。

項目	回答数	回答率 (回答数/ 総数)
1 非常に役に立った	24	40.7%
2 まあまあ役に立った	17	28.8%
3 どちらともいえない	11	18.6%
4 あまり役に立たなかった	3	5.1%
5 ほとんど役に立たなかった	0	0.0%
無回答	4	6.8%

総数 59



【その他（自由記載）】

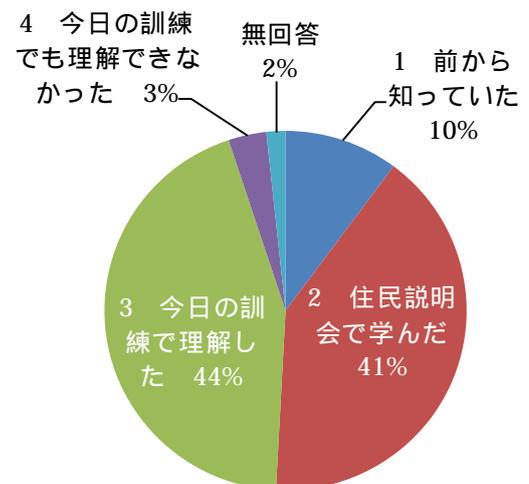
- ・ 家族全員に理解させるのは大変である。（上村田）
- ・ 水道は使えるのだろうか？（石沢）
- ・ 車がない個人は、一時避難所へどのような方法で避難すれば良いでしょうか？（地区無記載）
- ・ 説明など受けていたので流れがつかめた。（小場）

5 - 1 原子力災害における避難の流れは事前に知っていましたか？（屋内退避、スクリーニング、避難の仕方 など）

「今日の訓練で理解した」と答えた方が最も多く約44%（昨年約53%）の35名でした。次いで、「住民説明会で学んだ」と回答した方が約41%（昨年40%）でした。合せて、約85%（昨年約93%）でした。全般として、「住民説明会」を含め、今回実施した原子力災害広域避難訓練の実施成果があったものと考えます。一方、「前から知っていた」と回答した方は6名（昨年1名）でした。

項目	回答数	回答率 (回答数/ 総数)
1 前から知っていた	6	10.2%
2 住民説明会で学んだ	24	40.7%
3 今日の訓練で理解した	26	44.1%
4 今日の訓練でも理解できなかった	2	3.4%
無回答	1	1.7%

総数 59



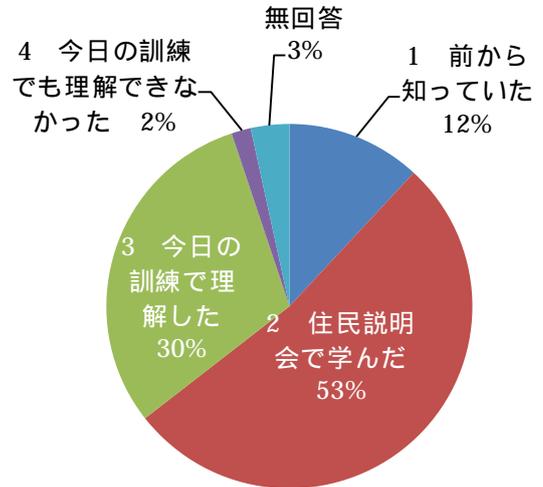
5 - 2 自分の「一時集合所」及び「避難先市町村」は事前に知っていましたか？

「住民説明会で学んだ」と答えた方が最も多く約53%（昨年約48%）でした。次いで、「今日の訓練で理解した」と回答した方が約30%（昨年約35%）でした。

合せて、約83%(昨年約83%)でした。全般として、「住民説明会」を含め、今回実施した原子力災害広域避難訓練の実施成果があったものと考えます。

一方、「前から知っていた」と回答した方は7名(昨年7名)であり、ご自身の「一時集合所」や「避難先市町村」への関心の高さを伺えます。

項目	回答数	回答率 (回答数/総数)
1 前から知っていた	7	11.9%
2 住民説明会で学んだ	31	52.5%
3 今日の訓練で理解した	18	30.5%
4 今日の訓練でも理解できなかった	1	1.7%
無回答	2	3.4%
総数	59	

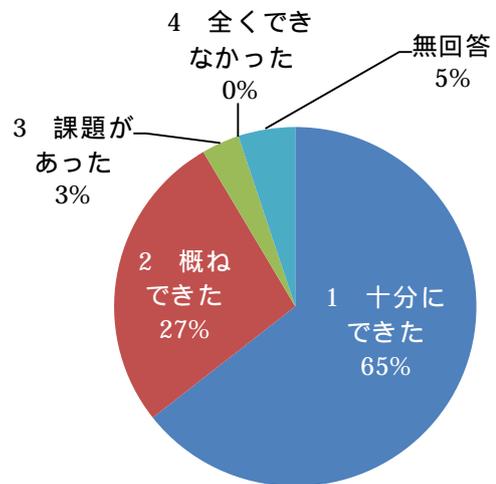


5 - 3 一時集合所までの避難はスムーズにできましたか？

「十分にできた」と「概ねできた」と回答された方が全体の90%(昨年95%)を超えており、本訓練実施の成果があったものといえます。

一方、自由意見では、「車の渋滞が発生しやすい。」や「駐車場がたりないと思う。」などの意見が見られました。

項目	回答数	回答率 (回答数/総数)
1 十分にできた	38	64.4%
2 概ねできた	16	27.1%
3 課題があった	2	3.4%
4 全くできなかった	0	0.0%
無回答	3	5.1%
総数	59	



【その他(自由記載)】

- ・車の渋滞が発生しやすい。(上村田)
- ・駐車場がたりないと思う。(上村田)
- ・説明会は大事と思う。(小場)
- ・集合時間に「余裕」がありすぎた。8:20(案内)より9:50(バス出発時間)の時間について?(疑問)であった。(小野)

5 - 4 一時集合所での誘導はわかりやすかったですか？

「わかりやすかった」や「概ねわかった」が全体の約88%(昨年79%近く)

でした。一方、「全くわからなかった」と回答した方が皆無（昨年も皆無）であることから、一時集合所における案内・受付から安定ヨウ素剤配布・説明等の誘導は良くできていたものと考えます。

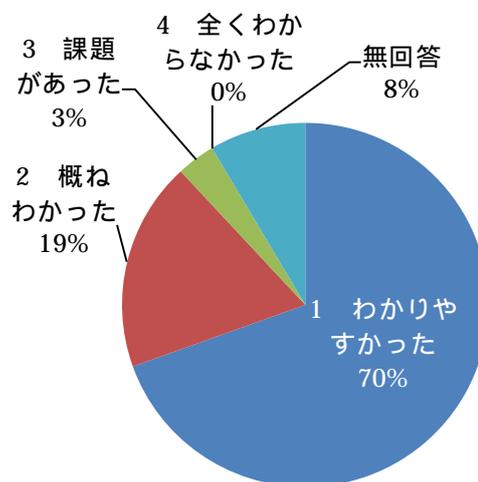
一方、「課題があった」と回答した方が2名（昨年3名）いました。

自由意見として、「担当者の声掛けがよかった。」や「親切だった。」との職員の誘導に好感を持つ意見がありました。

項目	回答数	回答率 (回答数/総数)
1 わかりやすかった	41	69.5%
2 概ねわかった	11	18.6%
3 課題があった	2	3.4%
4 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	5	8.5%

総数

59



【その他（自由記載）】

- ・誘導の仕方。駐車場から体育館まで。（石沢）
- ・担当者の声掛けがよかった。（小場）
- ・親切だった。（小野）

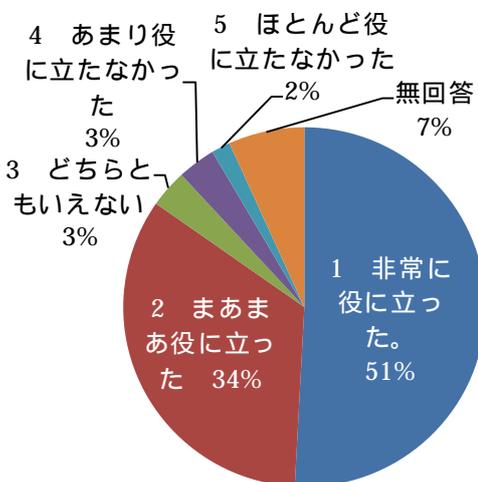
5 - 5 避難退域時検査場所（御前山地域センター）での行動は役に立ちましたか？

「非常に役に立った」と「まあまあ役に立った」と全体の約85%（昨年78%超）でした。一方、「あまり役に立たなかった」と「ほとんど役に立たなかった」と回答した方は3名（昨年は皆無）でした。総じて、御前山地域センター（駐車場）における避難退域時検査等の一連の行動は原子力防災に大きく寄与したものと考えます。自由意見としては、全般に時間が掛かりすぎた。もっと住民検査をして欲しい、という意見が多く見られました。

項目	回答数	回答率 (回答数/総数)
1 非常に役に立った	30	50.8%
2 まあまあ役に立った	20	33.9%
3 どちらともいえない	2	3.4%
4 あまり役に立たなかった	2	3.4%
5 ほとんど役に立たなかった	1	1.7%
無回答	4	6.8%

総数

59



【その他（自由記載）】

- ・時間がかかりすぎた。（上村田）
- ・放射線検査に時間がかかり、本番では会場が大混乱状態になるものと想像する。（石沢）
- ・時間の都合で出来なかったが、せめて各地区の代表2～3名は検査して欲しかった。（石沢）
- ・早く逃げるには時間のロスがありすぎる。（小場）
- ・放射線を調べる大変さがわかった。（小場）
- ・流れは分かったが、時間がかかりすぎるのではないか。（小野）

5 - 6 今回の訓練成果から、実際の原子力災害時に迅速に避難できると思いますか？

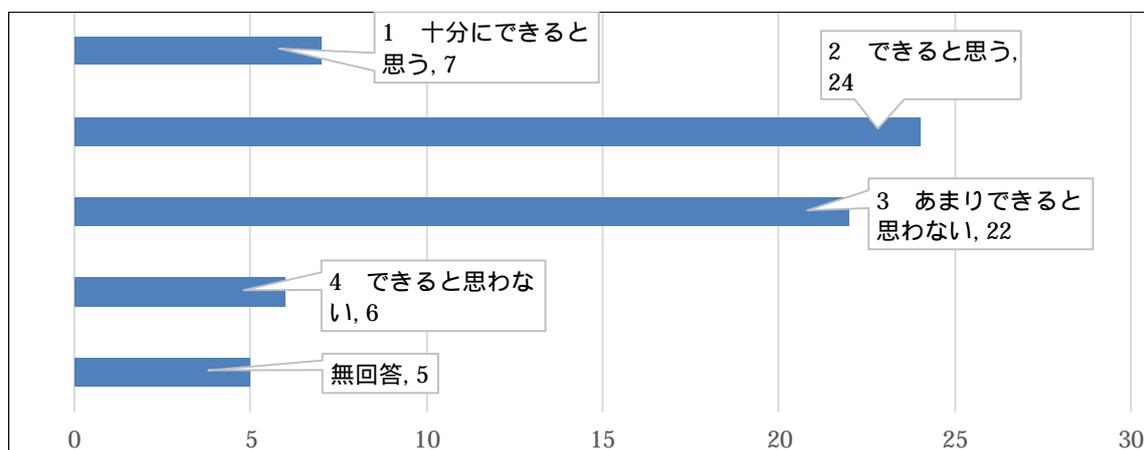
「十分にできると思う」と「できると思う」と回答した方が約48%（昨年約54%）でした。また、回答された方（「無回答」の5名を除く）に絞ってみますと、同じく31名/59名の約53%（昨年約62%）の方が「十分にできると思う」と「できると思う」と回答しています。

一方、「あまりできると思わない」と「できると思わない」と回答した方は約44%（昨年約33%）でした。また、回答された方（「無回答」の5名を除く）に絞ってみますと、同じく28名/59名の約47%（昨年約38%）の方が「あまりできると思わない」と「できると思わない」と回答しています。

項目	回答数
1 十分にできると思う	7
2 できると思う	24
3 あまりできると思わない	22
4 できると思わない	6
無回答	5

総数

64



今回の訓練成果として、実際の原子力災害時には「できる」が約53%（昨年、約60%）、「できない」が約47%（昨年、約40%）とほぼ拮抗した結果から、今回の様な実動訓練の継続が必要であるものと考えます。

【あまりできると思わない】（22名/延べ64名）の理由について

最も多かったのは、8名（昨年7名）から回答があった「普段から屋内退避・避難の準備をしていないため」であり、次いで7名（昨年6名）の「訓練・経験不足で自信がないため」でした。

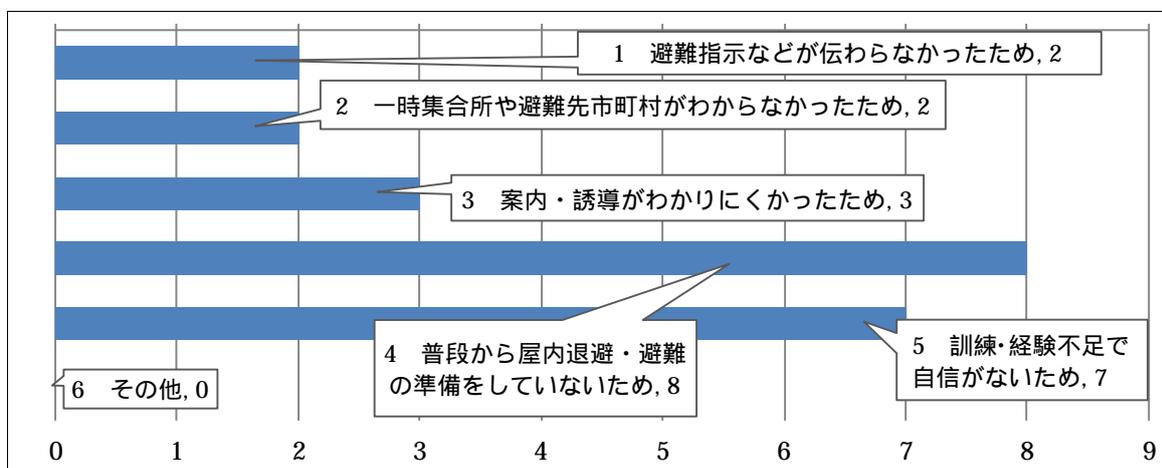
以上から、訓練等の継続実施が求められているのが理解できます。

自由意見として、実際の避難時の行動等への不安などの意見が見られました。

項目	回答数
1 避難指示などが伝わらなかったため	2
2 一時集合所や避難先市町村がわからなかったため	2
3 案内・誘導がわかりにくかったため	3
4 普段から屋内退避・避難の準備をしていないため	8
5 訓練・経験不足で自信がないため	7
6 その他	0

総数

22



【その他（自由記載）】

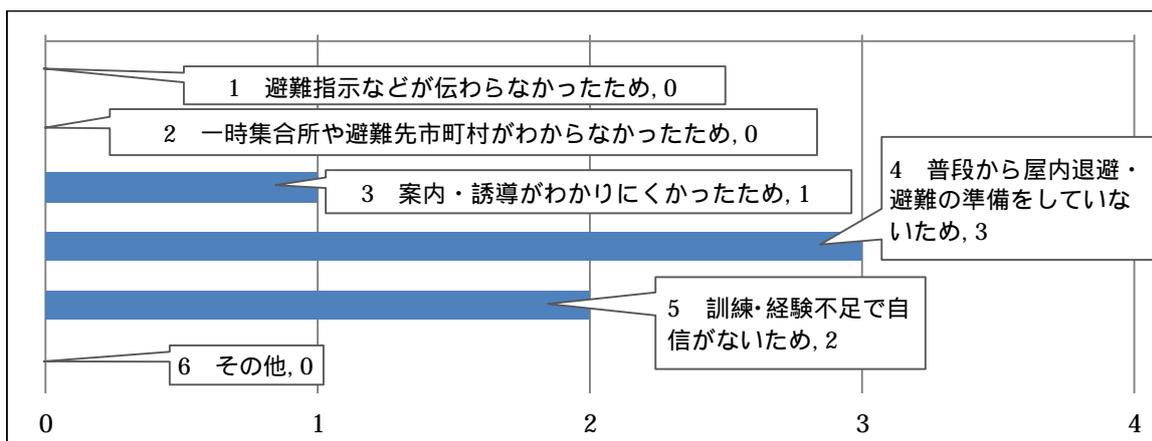
- ・地区住民に全員避難はむずかしい。（上村田）
- ・班未加入者など広く避難指示を出来るかが課題か。（石沢）
- ・実際の避難場所が今回とも限らない。（石沢）
- ・実際には車の渋滞が発生するのでは？（小野）
- ・実際には一時集合場所に集まるより、自分の車で避難所へ向かう人が多くなるのではないか。（小野）

【できると思わない】（6名/延べ64名）の理由について

最も多かったのは、3名（昨年1名）から回答があった「普段から屋内退避・避難の準備をしていないため」、次いで、2名（昨年0名）から回答があった「訓練・経験不足で自信がないため」、更に1名（昨年1名）の「案内・誘導がわかりにくかったため」となっています。

自由意見として、避難退域時検査に関する不安などの意見が見られました。

項目	回答数
1 避難指示などが伝わらなかったため	0
2 一時集合所や避難先市町村がわからなかったため	0
3 案内・誘導がわかりにくかったため	1
4 普段から屋内退避・避難の準備をしていないため	3
5 訓練・経験不足で自信がないため	2
6 その他	0
総数	6



【その他（自由記載）】

- ・ 避難退域時検査に時間がかかりすぎるため。（小場）
- ・ 検査の時間が実際の場合、とてもたいへんに思う。（小野）
- ・ 御前山地域センターが大宮市全員となればパニックします。（小野）

6 - 1 本訓練を通じ、今後解決すべき課題として一番重要と考えるものを挙げてください。

解決すべき課題として、最も多かったのは「情報伝達」の約28%（昨年約47%）でした。次いで多かったのは、「地域住民の連携」の約20%（昨年約16%）

「住民避難」の約19%（昨年約16%）でした。また、「避難行動要支援者等支援」が続いて約14%（昨年約13%）でした。

一方、「屋内退避」は約1%（昨年約9%）でした。

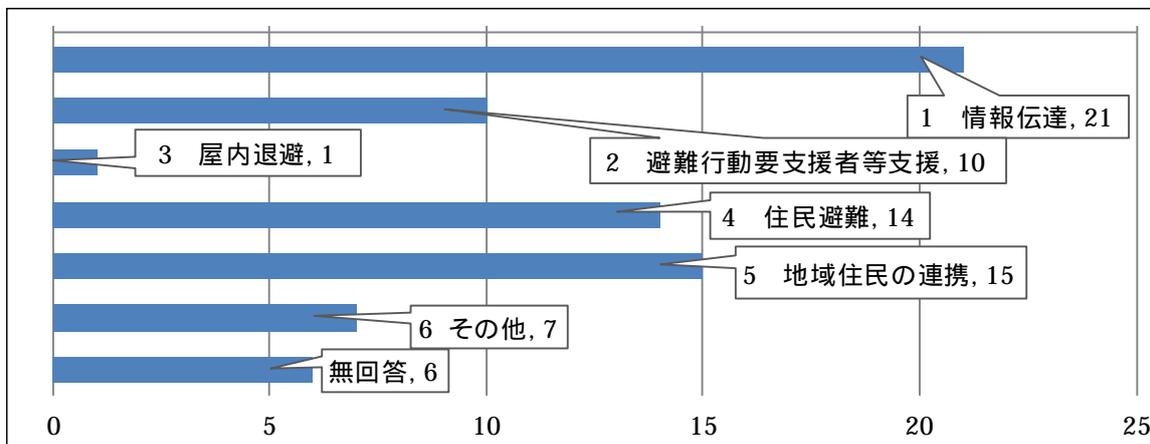
また、自由意見として、「班未加入者への伝達周知は大丈夫か。」や「区に所属していない人への呼びかけ等が課題。」との意見や「除染の必要な人と必要ない人を

区分して早く流すようにする。」など情報の伝達や避難退域時検査の流れなどに関する意見が見られました。

項目	回答数
1 情報伝達	21
2 避難行動要支援者等支援	10
3 屋内退避	1
4 住民避難	14
5 地域住民の連携	15
6 その他	7
無回答	6

総数

74



【その他（自由記載）】

- ・班未加入者への伝達周知は大丈夫か。（上村田）
- ・区に所属していない人への呼びかけ等が課題。（石沢）
- ・除染の必要な人と必要ない人を区分して早く流すようにする。（全体がスローになってしまい、混乱に発展する可能性あり）（小場）

6 - 2 今後再び本訓練に参加する機会があった場合、どのような訓練内容があればいいと考えますか。（例：ペット同行の避難訓練 など）

- ・ペット同行の避難訓練が知りたいです。（下村田）
- ・難しいかと思いますが、自分の車で避難する訓練（上村田）
後日、個人的に「道の駅きつねがわ」に行ってみたいと思います。
- ・個人避難者、車での避難対応をどうするか。実際は自家用車避難が中心ではないか。混乱すると思われる。（石沢）
- ・マイカーでの避難訓練。（石沢）
- ・となり近所との連携で、みんなで避難すること。（地区名無記載）
- ・ペットがいるので今後の対策。（小場）
- ・ペット同行。（小野）

- ・個別(家族)訓練。(小野)
- ・安否確認(誰が避難しているか?)(小野)
- ・自分の車での避難訓練。(小野)
- ・災害。(三美)
- ・家族全員。(三美)

6 - 3 本訓練を通じ、今後解決すべき課題として一番重要と考えるものを挙げてください。

- ・実践的で役に立つ訓練でした。ただ、事故が起きないことが一番だと思えます。お疲れ様でした。ありがとうございました。(上村田)
- ・汚染検査に時間がかかり過ぎてはいないでしょうか?(上村田)
- ・訓練をする事により、行動の順番を理解することができた。(上村田)
- ・訓練。(上村田)
- ・実際の場合、このとおりに行くか心配される。(上村田)
時間がかかり過ぎる。
手順・ルートが複雑。
- ・例えば要支援者の車両不足、班未加入者への対応をどうするか。防災無線機の無い住民の対応をどうするか。(石沢)
- ・TV やスマホ経由の情報提供は一方通行。相方向のやりとりができるホットラインの設置が必要。(石沢)
- ・実際はパニック障害が発生され困惑すると思う。家族が離ればなれになる場合も有るので、普段の情報が必要と思う。(石沢)
- ・定期的なスタッフの訓練・研修が必要と思われる。外の防災無線がかなり聞き取りにくい。(石沢)
- ・テレビによる情報は大変参考になったが、実際、震度6以上の地震があったら、停電した時に大丈夫なのかどうか疑問が残った。(石沢)
- ・案内の係の方はていねいに説明していただいたが、バスの車内での説明が聞きにくかった。(石沢)
- ・良い勉強になった。(地区名無記載)
- ・大変参考になりました。原子炉事故に対する理解が深まった。(地区名無記載)
- ・訓練を重ねることが重要と考えます。(小場)
- ・実際のことを考えると、避難退域時検査に時間がかかり、混乱するのではないかと心配になる。車の渋滞が想像される。検査方法の迅速化の方法を早期に確立しないと、実際問題難しいと思う。(小野)
- ・大宮市の広報などにより、行動ルートとはっきりとしめしてほしい。11:35に説明があったが、1点分からない点があった。(小野)
- ・参加できてよかった。(小野)
- ・避難の流れがわかった。(小野)
- ・避難の際の流れがわかった。(小野)